

5 - 2. 外部コイル法送信

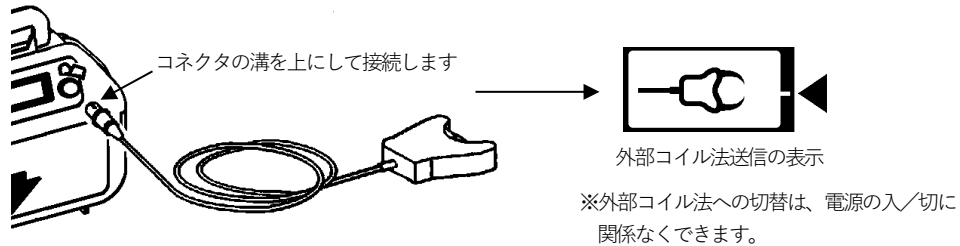
磁界を発生する小型コイルを測定対象物へ直接取り付ける送信方法です。

目的物だけに信号を誘導させるため、精度の高い測定が可能です。

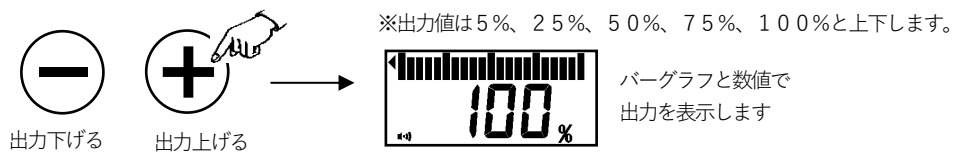
※製品構成によって外部コイル、外部コイル操作棒 はオプションとなります。

① 送信器の設定 ……送信器に外部コイルを接続すると、自動的に外部コイル法に設定されます。

※周波数も外部コイルに合わせて自動設定されます。



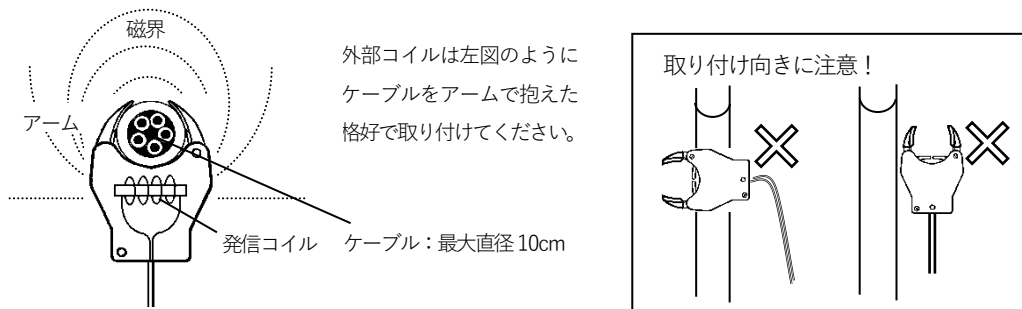
② 出力の設定 ……深度、位置が不明の場合には最大出力（100%）に設定します。



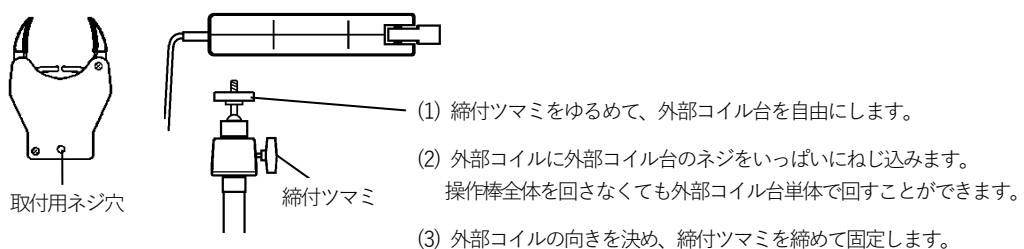
■ 最大出力の場合、電池の消耗が早くなります。低深度・短距離の探索では、出力50%以下にすると電池が節約できます。

■ 出力を75%以上に調整した場合、電源を切ると75%に自動設定されます。

③ 外部コイルの取付方法 ……アームを広げて、管路/ケーブルに押しつけます。



④ 外部コイル操作棒の取付方法 ……手の届かない場所に使用します。



立上り管への取り付け

注意
外部コイルから出る磁界が測定に影響する場合があります。正確な測定のために、外部コイルから5 m以上離れてください。

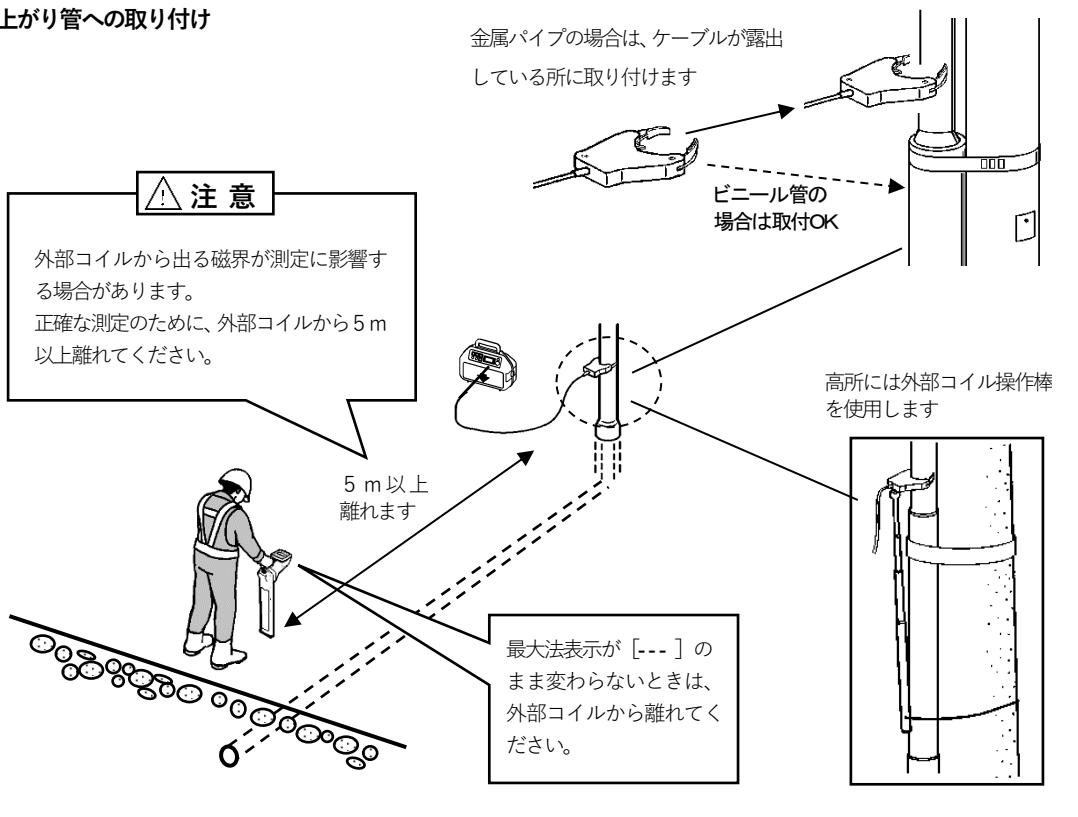
金属パイプの場合は、ケーブルが露出している所に取り付けます

ビニール管の場合は取付OK

高所には外部コイル操作棒を使用します

5 m以上離れます

最大法表示が [---] のまま変わらないときは、外部コイルから離れてください。



マンホール内への取り付け

なるべく探索場所に近い側へ取り付けます

深部には外部コイル操作棒を使用します

ケーブルがアースされていると、信号はアース点の方に流れます

外部コイルは防水処理されており、水の溜まっている所でも使用できます

